

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和2年10月30日



学校だより

11月号

Email y3motois@edu.city.yokohama.jp

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

TEL 045(902)1821

自分を大切に思うことも

校長 鈴木 彰

子どもたちが楽しく価値の高い「スペシャル元小スポーツフェス」を成功させ、華々しく後期がスタートしました。様々な壁を乗り越え、力強く成長する半年になってほしいと願っています。

後期の始業式で、私は全校児童に、こんな話をしました。

「後期は、みんながつながって過ごしていきましょう。そのために『声をかけよう』。」

この春、「人との接触 8 割削減」「ステイホーム」が叫ばれ、外遊びが好きな私も極端に、家で過ごす時間が増えました。また接触自粛の思いから、独りで過ごす時間が増えました。

それによって今年は、物事を必要以上に深く考えるようになってしまっている気がします。悩むことが多くなりました。

考える時間がたくさんあるからかもしれません。外出中の楽しい出来事が減ったからかもしれません。独りでいるとネガティブな気分になるのかもしれません。気が滅入る時間が増えたように感じます。

子どもたちにも同じようなことがあるかもしれないと考えました。そこで、話しました。

「声をかけよう」

「困っている人に」「声をかけよう」

「困っているときに」「声をかけよう」

(あえて「困っているときに」のほうに力を入れて伝えました)



最近、大切な命を失くしたというニュースが急に増えました。タレントなどの有名人が命を落とすと、思春期の子どもたちにとっても大きな影響を与えます。

これまで私たちは学校で、「思いやり」「やさしさ」「親切」「チームワーク」・・・と、たくさん、他者とのつながりを大切にするように教えてきました。それはこれからも同じなのですが、もしかしたら、今 私たち大人は それ以上に、子どもたちに「自分を大切にすること」も教えなければいけないのかもしれません。困っているときに、誰かに自分の思いを打ち明けられる(声をかける)ことができるというのも重要な「生きる力」ではないでしょうか。

「自分を大切に思うことも、大事な人への大切な思い」

学校の大切な子ども。家族の中の大切な子ども。子どもを見つめる親。

「自分を大切に思うことも、大事な人への大切な思い」。 そう、思います。

私たち大人も・・・、同じです。